令 和 7 年 度

Academic Year 2025

名古屋大学大学院工学研究科
博士課程外国人留学生募集要項

（令和７年４月入学）

GRADUATE SCHOOL OF ENGINEERING
NAGOYA UNIVERSITY

APPLICATION GUIDELINES FOR INTERNATIONAL STUDENT ADMISSION

TO GRADUATE STUDY PROGRAMS

(BEGINNING in APRIL 2025)

令和６年４月

April 2024

名古屋大学大学院工学研究科

Graduate School of Engineering

Nagoya University

工学研究科アドミッション・ポリシー

博士前期課程（修士課程）

〈入学者受入れの方針〉
高度な専門力や総合力の修得に必要な基礎学力をもち，最先端の工学を探究・実践する意欲のある人を求めます。

〈選抜の基本方針〉
入学者受入れの方針にしたがって，各専攻において，筆記試験，口頭試問，提出書類等により，語学力を含む基礎学力，専門知識に加え，工学への探究心と意欲の審査を行い，総合的に評価し，選抜します。

博士後期課程（博士課程）

〈入学者受入れの方針〉
博士前期課程修了者と同等以上の基礎学力，専門知識を有し，より高度な工学を探究し，新たな価値を創造することに意欲のある人を求めます。

〈選抜の基本方針〉
入学者受入れの方針にしたがって，各専攻において，筆記試験，口頭試問による成績並びに，その他提出書類等により，語学力を含む基礎学力，専門知識の審査に加え，博士後期課程での研究内容・実施計画の審査を行い，総合的に評価し，選抜します。

ADMISSIONS POLICIES
Graduate School of Engineering, Nagoya University

Master's Program (HAKUSHI-ZENKI-KATEI)

〈Admissions Policy〉
This program seeks applicants who possess the fundamental academic abilities necessary to acquire high levels of expertise and comprehensive knowledge in their fields of study, and are motivated to pursue and apply their knowledge at the frontiers of engineering.

〈Selection Process〉
In line with the admissions policy, each department will select students by a comprehensive evaluations through assessment of their basic academic abilities (including linguistic skills) and, specialized knowledge, as well as their inquisitiveness and motivation for studying engineering, by means of a written test, oral assessment, document screening, etc.

Doctoral Program (HAKUSHI-KOKI-KATEI)

〈Admissions Policy〉
This program seeks applicants who possess the fundamental academic abilities and specialized knowledge equivalent or superior to those of a master's degree holder, and who are motivated to pursue more advanced knowledge in engineering and to create new value.

〈Selection Process〉
In line with the admissions policy, each department will select students by a comprehensive evaluation through assessment of their basic academic abilities (including linguistic skills) and specialized knowledge, as well as the content and plans for their doctoral research, based on their grades on a written test and oral assessment, document screening, etc .

インターネット出願について

本研究科では令和５年（2023 年）度に実施する入学試験からインターネット出願を開始しています。出願前には，マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。

なお，インターネット出願時に登録されたメールアドレスには，大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので，変更や削除の可能性がなく，日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

専攻案内について

本募集要項への掲載内容の他，系（専攻）単位で入試の出願範囲，入試説明会，事前連絡その他受験に際しての注意事項等を定める場合があります。

出願に先立ち，志望する系（専攻）の専攻案内及び専攻ウェブサイトを必ず確認して下さい。

（専攻案内の入手方法）
https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/doc/attention2.pdf

◇自然災害等の不測の事態が発生した場合の諸連絡

自然災害等に伴い，試験日程や選抜内容等に変更が生じる場合があります。この場合，次のホームページにより周知しますので，出願前や受験前は特に注意してください。

〇工学研究科ホームページ
https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/

◇安全保障輸出管理の「みなし輸出」の改正に係る手続きについて

2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い，学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い，本学への出願者全員に対して「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出を求めることとなりました。

以下の本研究科ホームページに掲載する,「類型該当性の自己申告書」をご確認いただき，該当結果をご記入の上，出願書類とともにご提出下さい。
https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/

※日本国籍の方を含めて，出願者全員「類型該当性の自己申告書」の提出が必要になります。
※類型に該当する対象者については，該当性を判断する根拠となるエビデンス資料について出願書類とあわせてご提出ください。
※一部の学生においては，入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

※出願書類として求められる文章等を生成 AI により作成することは認めません。

目　　次

Ⅰ　博士前期課程（修士課程）

１　出　願　資　格 …… 1
２　受入専攻及び募集定員 …… 2
３　出願登録期間・入学検定料払込期間・願書受付期間 …… 2
４　出　願　手　続 …… 2
５　出 願 書 類 等 …… 3
６　インターネット出願の流れ …… 7
７　入学検定料の払込方法 …… 11
８　受験票の印刷について …… 11
９　選　抜　方　法 …… 11
10　合 格 者 発 表 …… 12
11　入　学　手　続 …… 12
12　授業料等学生納付金 …… 12
13　その他の注意事項 …… 12
14　個人情報の取り扱い …… 13
15　卓越大学院プログラムについて …… 13
16　入試関係照会先 …… 13

Ⅱ　博士後期課程（博士課程）

１　出　願　資　格 …… 15
２　受入専攻及び募集人員 …… 15
３　出願登録期間・入学検定料払込期間・願書受付期間 …… 16
４　出　願　手　続 …… 16
５　出 願 書 類 等 …… 17
６　インターネット出願の流れ（Ⅰ　博士前期課程（修士課程）　６（7 頁）と同様） …… 18
７　入学検定料の払込方法 …… 19
８　受験票の印刷について …… 19
９　選　抜　方　法 …… 19
10　合 格 者 発 表 …… 20
11　入　学　手　続 …… 20
12　授業料等学生納付金 …… 20
13　その他注意事項 …… 20
14　個人情報の取り扱い …… 21
15　入試関係照会先 …… 21

◎　出願資格(7)により出願する者について（文部科学大臣の指定した者）　…………………………………22
◎　出願資格(8)により出願する者について　………………………………………………………………23
◎　令和７（2025）年度名古屋大学大学院工学研究科概要……………………………………………………24

令和７（2025）年度　名古屋大学大学院工学研究科
博士課程外国人留学生募集要項

Ⅰ　博士前期課程（修士課程）

１　出　願　資　格

日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）であって，「留学」の在留資格を有し，かつ次のいずれかに該当する者のうち，令和6年度に実施する令和7年度本研究科博士前期課程入学試験合格者以外の者。

ただし，入学手続時までに「留学」の在留資格を取得できる予定の者については，出願時にその資格を有しなくても出願できる。

Ａ：有機・高分子化学，応用物質化学，生命分子工学，応用物理学，物質科学，材料デザイン工学，物質プロセス工学，化学システム工学，電気工学，電子工学，情報・通信工学，エネルギー理工学，総合エネルギー工学，土木工学の各専攻

(1)　外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月末日までに修了見込みの者

(2)　英語による高等教育課程（大学）により，日本の大学を卒業した者及び令和7年3月末日までに卒業見込みの者

(3)　外国の大学その他の外国の学校において，修業年限が3年以上である課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月末日までに授与される見込みの者

(4)　その他本研究科において日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
ただし，日本語教育により日本の大学を卒業した者は，対象としない。
（注）出願資格(4)により出願する者は，あらかじめ工学研究科教務課入学試験係〔13頁「16　入試関係照会先」を参照〕へ照会し，令和6年9月13日（金）〔16 時必着〕までに工学研究科教務課入学試験係へ所定用紙を提出または郵送し，出願資格の有無について事前照会すること。

※出願する前に必ず志望指導教員に連絡すること。なお，有機・高分子化学，応用物質化学及び生命分子工学の各専攻では，出願する前に必ず志望指導教員に連絡を取り，内諾を得ておくこと。

Ａの各専攻では，日本語教育により日本の大学を卒業した者は，８月に実施する一般入試を受験すること。

Ｂ：機械システム工学，マイクロ・ナノ機械理工学，航空宇宙工学の各専攻

(1)　外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月末日までに修了見込みの者

(2)　日本の大学を卒業した者及び令和7年3月末日までに卒業見込みの者

(3)　外国の大学その他の外国の学校において，修業年限が3年以上である課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月末日までに授与される見込みの者

(4)　その他本研究科において日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
（注）出願資格(4)により出願する者は，あらかじめ工学研究科教務課入学試験係〔13頁「16　入試関係照会先」を参照〕へ照会し，令和6年9月13日（金）〔16 時必着〕までに工学研究科教務課入学試験係へ所定用紙を提出または郵送し，出願資格の有無について事前照会すること。

※出願する前に必ず志望指導教員に連絡を取り，内諾を得ておくこと。

２　受入専攻及び募集人員

専　　攻	募　集　人　員
有　機　・　高　分　子　化　学	若　干　名
応　用　物　質　化　学	若　干　名
生　命　分　子　工　学	若　干　名
応　用　物　理　学	若　干　名
物　質　科　学	若　干　名
材　料　デ　ザ　イ　ン　工　学	若　干　名
物　質　プ　ロ　セ　ス　工　学	若　干　名
化　学　シ　ス　テ　ム　工　学	若　干　名
電　気　工　学	若　干　名
電　子　工　学	若　干　名
情　報　・　通　信　工　学	若　干　名
機　械　シ　ス　テ　ム　工　学	若　干　名
マ　イ　ク　ロ　・　ナ　ノ　機　械　理　工　学	若　干　名
航　空　宇　宙　工　学	若　干　名
エ　ネ　ル　ギ　ー　理　工　学	若　干　名
総　合　エ　ネ　ル　ギ　ー　工　学	若　干　名
土　木　工　学	若　干　名

３　出願登録期間・入学検定料払込期間・願書受付期間

①出願登録期間・入学検定料払込期間

インターネット出願登録期間及び入学検定料払込期間

令和6年10月7日（月）から10月25日（金）14時59分まで

②願書受付期間

令和6年10月21日（月）～10月25日（金）

窓口受付時間：9時～16時。ただし，12時～13時は除く。

受付期間最終日までの消印を有効とする。なお，海外から出願書類を郵送する場合，10月25日（金）必着とする。（消印は考慮しない。）

（注）インターネット出願については，7頁「６　インターネット出願の流れ」を参照すること。
入学検定料の払込については，11頁「７　入学検定料の払込方法」を参照すること。

４　出　願　手　続

出願手続は，入学検定料払込期間内にインターネット出願サイト（7頁参照）で出願登録及び入学検定料の払込を行った後，願書受付期間内に出願書類を提出または郵送することで完了する。

●検定料の払込期限は，出願登録日を含め４日間(*)であり，払込期限内に入金がない場合は，出願登録は自動的に取り消しとなる。出願登録が取り消しとなったときは再登録すること。

*検定料の払込締切日までの日数が４日より短い場合は払込締切日（10月25日（金）14時59分）までに支払うこと。

● 詳細は11頁「７　入学検定料の払込方法」を参照すること。

●「５　出願書類等」①～⑬の書類等を工学研究科教務課入学試験係へ出願期間内に届くように提出または郵送すること。

郵送先・提出先：〒464-8603　愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院工学研究科教務課入学試験係

◎注意事項

（１）出願書類は，インターネット出願システムから出力される「出願書類送付用封筒貼付用紙」をカラーで印刷し，角型２号の封筒に貼りつけて，工学研究科教務課入学試験係へ提出または郵送すること。
詳細については，10頁「STEP６（必要書類の印刷と郵送)」を確認すること。

（２）出願書類を郵送する場合は，簡易書留速達郵便で，郵便局窓口から送付すること。(ポストには投函しないこと。)
海外からの場合は，EMS・DHL 等，追跡のできる方法で送付すること。

（３）出願書類に不備のある場合は，受け付けないので留意すること。

（４）出願手続後は，いかなる事情があっても書類の書き換え及び返却は認めない。

（５）出願書類について，虚偽の申請，不正等の事実が判明した場合は，入学許可を取り消すことがある。

（６）出願に際して不明な点は，13頁の「16　入試関係照会先」まで問い合わせること。

５　出 願 書 類 等

インターネット出願以外の所定用紙は，以下の本研究科ホームページからダウンロードし，A4判用紙にカラー印刷のうえ記入すること。(https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/graduate/admission.php)

【出願書類記入上の注意】

１．日本語または英語で記入すること。
２．出願書類は，拡大・縮小は行わずに A4判用紙で白い用紙に印刷すること。
３．志願票の記入に当たっては，文字は楷書，数字は算用数字，英字は大文字活字体で，正確・明瞭に黒のボールペンで記入すること。消せるボールペンは使用しないこと。
４．訂正を行う場合は，二本線で取り消し，再度余白部分に記入すること。修正液等は使用しないこと。

(全専攻共通の出願書類)

	出 願 書 類 等	注　意　事　項
①	名古屋大学大学院志願票 及び写真票	［インターネット出願システムから出力されたものを，A4サイズで片面カラー印刷すること。］ ※出願前３ヶ月以内に撮影した正面向き，上半身，無帽，背景なしの顔写真データを用意し，インターネット出願サイトからアップロードすること。 出願後に住所が変更になる場合には必ず工学研究科教務課入学試験係まで連絡すること。 写真票の「研究科指定欄」は空欄のまま提出すること。
②	名古屋大学大学院 工学研究科博士前期課程入学志願票 （所定用紙）	・本研究科ホームページから所定の用紙をダウンロードし，作成すること。 （注１）申請者署名欄は自筆で署名すること。 （注２）職歴欄は，職歴なしの場合は，「なし」と記入すること。
③	志望理由書 （所定用紙）	本研究科ホームページ掲載の所定用紙に記入すること。
④	卒業証明書又は 卒業見込証明書 （原本）	・本学工学部（正規課程）に在籍中の者は提出不要。 ・留学生で本学部（本研究科）の研究生は，研究生入学時に証明書原本（紙面に限り，見込証明書は不可）を提出済みの場合は再提出不要。 （注１）証明書は必ず原本を提出すること。コピーやPDF等のデータでの提出は不可。 （注２）本学部・本研究科の休学中の学生は，教務課入学試験係に事前に相談すること。 （注３）氏名変更等により，証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合，それ

		を証明できる書類を併せて提出すること。 （注４）外国の大学を卒業した者は，取得学位の記載がある卒業（または見込み）証明書も提出すること。 （注５）外国の大学を卒業した者は，大学又は公証処等が発行した証明書を提出すること。 （注６）日本語又は英語以外で作成されている場合は，日本語又は英語の訳文を添付すること。（自身で翻訳する場合には，日付を記載し，自筆署名すること。）
⑤	学業成績証明書 （原本）	・学部におけるもの。 ・本学工学部（正規課程）に在籍中の者は提出不要。 ・留学生で本学部（本研究科）の研究生は，研究生入学時に証明書原本（紙面に限り，見込証明書は不可）を提出済みの場合は再提出不要。 （注１）証明書は必ず原本を提出すること。コピーやデータでの提出は不可。 （注２）氏名変更等により，証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合，それを証明できる書類を併せて提出すること。 （注３）外国の大学を卒業した者は，大学又は公証処等が発行した証明書を提出すること。 （注４）日本語又は英語以外で作成されている場合は，日本語又は英語の訳文を添付すること。（自身で翻訳する場合には，日付を記載し，自筆署名すること。）
⑥	推薦書（原本）	・出身大学の教員が作成したもの。ただし，在職中の者は所属長が作成したものとする。いずれも様式随意。 ・本学工学部卒業見込者または本学部（本研究科）研究生は提出不要。
⑦	日本語能力を証明するもの	・本学工学部卒業見込者または本学部（本研究科）研究生は提出不要。 ・機械・航空宇宙工学系の３専攻（機械システム工学，マイクロ・ナノ機械理工学，航空宇宙工学）を志願する者で，日本の大学を日本語教育課程により卒業した者及び卒業見込みの者については，提出不要。 （注１）日本語の担当教員もしくはこれに準ずる者の証明書は，原本を提出すること。 （注２）日本語能力検定試験(JLPT)，日本語能力試験（JPT）の成績を提出する場合，写しで可。
⑧	「在留カード」の両面コピー又は「住民票の写し」（原本）	「住民票の写し」の場合は在留資格，在留期間の記載されたもの（発行申請時に申し出が必要）かつマイナンバーの記載がないものとする。海外在住者においては，パスポートのコピー（顔写真のある頁）を提出し，入学手続時に必ず左記のうちいずれかを提出すること。
⑨	合否通知用封筒 （所定用紙貼付）	長形3号の封筒に，本研究科ホームページに掲載する「合否通知用封筒貼付用紙」を貼付の上，郵便番号・住所（日本国内），氏名を記入し，620円分の切手を貼ること。 海外在住のまま受験する場合は，提出不要。
⑩	入学手続通知用封筒 （所定用紙貼付）	角型2号の封筒に，本研究科ホームページに掲載する「入学手続通知用封筒貼付用紙」を貼付の上，郵便番号・住所（日本国内），氏名を記入すること。 海外在住のまま受験する場合は，提出不要。
⑪	類型該当性の自己申告書（所定用紙）	本研究科ホームページに掲載する所定用紙（「類型該当性の自己申告書」（様式１））に該当結果を記入し，提出すること。 類型①～③のいずれかに該当する場合のみ，別紙フローチャートも併せて提出の上，海外機関の奨学金の受給通知等も提出すること。
⑫	国費留学生証明書 （原本）	他大学において現在国費留学生である者のみ提出すること。 在学している大学発行のものとする。
⑬	出願書類チェック表 （所定用紙）	本研究科ホームページ掲載の所定用紙を使用し，出願者チェック欄に記入の上，提出すること。

注：出願書類の受付後，本研究科においてその他の書類の必要が生じた場合には，後日提出させることがある。
（化学生命工学系３専攻（有機・高分子化学，応用物質化学，生命分子工学）及び電気電子情報工学系３専攻（電気工学，電子工学，情報・通信工学の各専攻）のみの出願書類）
※化学生命工学系３専攻及び電気電子情報工学系３専攻の出願者は，上記出願書類と併せて以下を提出すること。

	出願書類等	注意事項
1)	TOEFL又はTOEICのスコアシート	本研究科ホームページ掲載の所定様式「TOEFL/TOEICスコアシート提出用紙」にTOEFL又はTOEICのスコアシートを貼ること。 （注１）外国語（英語）については，筆記試験を実施せず，TOEFL又はTOEICのスコアで評価する。スコアシートを提出しない場合は，出願は可能であるが，外国語（英語）については評価されない。 （注２）スコアシートはTOEFL，TOEICどちらか一方，又は両方の提出が可能である。 （注３）提出されたスコアシートの返却には応じられない。また，いかなる理由でも，一度提出した同一種類のスコアシートの差し替えにも応じられない。 （注４）TOEICのスコアシートを提出する場合 提出はTOEICテストもしくはTOEIC Listening & Reading Testの原本（Official Score Certificate）に限る。（ただし，「Official Score Certificate」を発行していない国の場合は，「Official Score Report」及び「Certificate of Achievement」の両方を提出することで原本の提出があったものとする。）「団体特別受験制度（IP:Institutional Program)」のスコアは受け付けない。顔写真の載っていないスコアシートは原則として受け付けない。（ただし，「Official Score Certificate」を発行していない国の場合は，「Official Score Report」に顔写真が載っていない場合でも受け付ける。）一度提出したスコアシートの差し替えや写しの返却には応じられない。 （注５）TOEFLのスコアシートを提出する場合 iBT（Internet-based Test）（Home Editionを含む）のスコアを有効とする。団体向けテストプログラムであるITP（Institutional Testing Program）のスコアは受け付けない。スコアシートは，以下の①と②の両方を提出すること。 ①公式スコア「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」 ②受験者に届く「Test Taker（Examinee）Score Report（コピー）」 なお，スコアシートを提出する際は，以下の点に留意すること。 1)「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」は，最終提出期限までにETSから名古屋大学に届くように所定の手続きをすること。（手続き時に名古屋大学のInstitution Code D377，Department Code 「69 Engineering, other」を指定すること。）なお，TOEFLの受験後「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」が指定送付先に到着するまでに6～8週間程度かかるとされている。到着が遅れる場合もあるので，十分な時間的余裕を持ってTOEFLを受験すること。 2)「Institutional Score Report」を提出する場合は，「Test Date Scores」のみを活用する（「MyBest™Scores」は採用しない。） 3)出願書類提出時に「Test Taker（Examinee）Score Report」のコピーを提出すること。 （注６）2022年6月1日以降に実施されたTOEFL/TOEICのスコアのみ有効とする。スコアシートが発送されるまでには１ヶ月程度の期間を要するため，出願期限にスコアシートが間に合うよう，受験すること。

		（注７）TOEFLのスコアシートを提出する場合は，（注５）の①と②のいずれか一方でも出願期限に到着しなかったときは，スコアシートの提出はなかったものとして扱う。 （注８）本学工学研究科の2024年8月大学院入試の受験者で，有効な上記スコアシートの原本を本学に既に提出済みであり，その成績を利用する者は，スコアのコピーを提出すること。（TOEFLのOfficial Score Reportsの再手配は不要。）

６　インターネット出願の流れ

（次頁以降参照）

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6		STEP 7
事前準備	出願サイトにアクセス	マイページの登録	出願内容の登録	入学検定料の支払い	必要書類の郵送	出願完了	受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書（※詳細は各研究科学生募集要項参照）

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ **https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/**

STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は **マイページ登録** から ログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信 >** を クリックしてください。

③ユーザー登録画面から **ログインページへ** を クリックしてください。

④登録したメールアドレスに 初期パスワードと 本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から 登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** を クリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を 行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して **次へ** を クリックしてください。

⑧個人情報を確認して **この内容で登録する** を クリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、 出願手続きを行う > ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP 4 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ

②研究科の選択

③入試区分と留意事項の確認

④出願専攻等の選択

⑤顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。

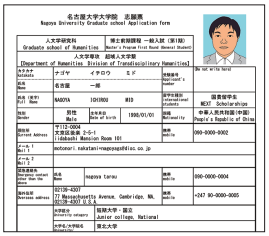
⑥個人情報（氏名･住所等）の
入力

⑦出願内容の確認
志願票（サンプル） ボタンを
クリックすると志願票、写真票、宛名シート
が確認できます。

⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。

お支払い期限は申込日を含め4日間
です。ただし、Web出願締切がそれよ
りも早く到来する場合、Web出願締切
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号メモ（13桁）	

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済番号メモ（11桁）	

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号メモ（11桁）	
確認番号メモ（6桁）	
収納機関番号（5桁）	5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

入学検定料支払い後は、登録内容の修正･変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。
ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
Seicomart

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi　LAWSON　MINI STOP
マルチコピー機　FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン	デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー	ローソン ミニストップ	ファミリーマート	セイコーマート
店頭レジ	店頭レジ	Loppi	マルチコピー機	店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える	レジで「オンライン決済」と伝える	「各種番号をお持ちの方」を選択	「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払いPayment/Charge）」を選択	レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える	「オンライン決済番号（11桁）」を伝える	「お客様番号（11桁）」入力	「お客様番号（11桁）」入力	「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
		「マルチペイメントサービス」を選択		
		「確認番号（6桁）」入力	「確認番号（6桁）」入力	
		支払い内容確認	支払い内容確認	
レジで検定料を現金で支払う※		発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※ 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。		レジで検定料を現金で支払う※
領収書（レシート形式）を必ず受け取る		取扱明細書兼領収書を必ず受け取る		

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM
ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
ご利用明細書を必ず受け取る

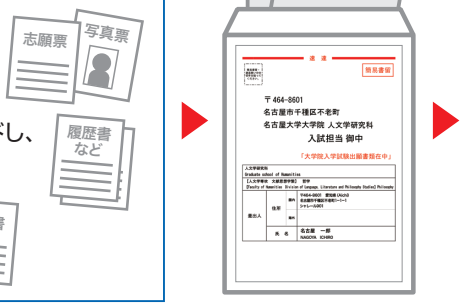
※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP 6 必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から**「簡易書留・速達郵便」**で郵送してください。

出願に必要な書類　⚠ 募集要項を必ず確認してください

- ●インターネット出願サイトから印刷する書類
- ●本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類
- ●出身大学等に発行を依頼する証明書



出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。
それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7 受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自でA4用紙にカラー片面印刷をして試験当日に持参してください。

7　入学検定料の払込方法

(1) 入学検定料 30,000円

入学検定料のほかに支払手数料（最大で1.300円）が必要となる。手数料の額は，支払手続き画面に表示される。

国費外国人留学生として入学する予定の者は，入学検定料不要のため，インターネット出願サイトの出願時に「検定料の免除について」で「該当する」をチェックすること。

なお，本来入学検定料を支払うべき者が，誤って「検定料の免除について」において，「該当する」を選択し，入学検定料を支払わず出願した場合の書類は受理しないので注意すること。

(2) 払込期間

令和6年10月7日（月）から10月25日（金）14時59分まで

(3) 払込方法

入学検定料の支払いは，9頁「STEP５（入学検定料の支払い)」を参照のうえ，行うこと。

海外在住者は，クレジットカードで払い込むこと。

(4) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は，納入済みの入学検定料は返還しない。ただし，以下に該当する場合は，納入された入学検定料を返還する。なお，返還にかかる振込手数料は志願者負担とする。

ア　入学検定料納入後，出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ　入学検定料を二重に払い込んだ場合

※ 入学検定料の返還は銀行振込で行う。海外の銀行の口座に返還する場合には，返還される金額は大きく減額される他，返還に多大な日数を要するので，入学検定料の払込は慎重に行うこと。

※返還請求方法については

名古屋大学 受験生応援サイト（https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/）

→「入試情報を知りたい」→「大学院入試」→「入学検定料の支払い」を確認すること。

8　受験票の印刷について

令和6年11月6日（水）までに，受験票印刷についての連絡をインターネット出願時に登録したメールアドレスに通知する。

メールに記載されている注意事項に従い，インターネット出願サイトにログインして受験票をA4用紙にカラーで片面印刷すること。詳細については，10頁「STEP７（受験票の印刷)」を確認すること。

なお，試験上の連絡事項がある場合は，出願時に登録したメールアドレスに送付するため，定期的に確認すること。

（注１）インターネット出願登録した際の受付番号は，受験番号ではない。試験当日は受付番号での受験はできないため必ず受験票を持参すること。

（注２）試験当日にスマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めない。

9　選　抜　方　法

学力検査（筆記試験及び口頭試問，またはオンラインによる選考（口頭試問含む))

対面，オンライン等専攻別の実施方法詳細については，令和6年8月末までに本研究科ホームページに掲載する。

日時：令和6年11月13日(水)から11月15日(金)までの期間に実施する。

9時から17時まで。

(1)　専門科目試験：志願者が，専攻しようとする学問分野において，博士前期課程の学習に必要な基礎ができているかどうかについて試験する。筆記試験の問題は，日本文と英文で書かれる。

(2)　語学試験：英語※

※有機・高分子化学，応用物質化学，生命分子工学，電気工学，電子工学，情報・通信工学の各専攻では，英語外部試験に基づき，評価する。

語学試験，口頭試問等において日本語能力についての検定を行うことがある。

試験科目，日程など詳しいことは各専攻から通知する。

10　合 格 者 発 表

令和6年12月20日(金)正午（本研究科ホームページに掲示するとともに合否結果を本人宛に送付する。）

※合格者には入学意思の確認書類を同封する。翌年1月には提出が必要となるため留意すること。

11　入　学　手　続

入学手続に関する詳細については，令和7年3月上旬に通知する。

令和7年3月中旬までに郵送により行う。

12　授業料等学生納付金

(1)　入 学 料　282,000円（予定）

入学手続時に納付すること。

ただし，国費外国人留学生は入学料を要しない。

(2)　授 業 料　前期分　267,900円（予定）（年額535,800円（予定））

授業料は，前期及び後期の２期に分けて納入する。また，納付については，授業料口座振替（代行納付制度）により取り扱う。

ただし，国費外国人留学生は授業料を要しない。

（注１）入学手続き完了後は，納付済みの入学料は返還しない。

（注２）入学時又は在学中に入学料及び授業料の改定が行われた場合は，改定時から新しい金額が適用される。

13　その他の注意事項

(1)　障害がある者等で，受験上特別な配慮を必要とする者は，令和6年10月7日(月)までに，13頁の「16　入試関係照会先」まで申し出ること。

なお，修学上特別な配慮を必要とする者も同様に申し出ること。

(2)　出願後に志願票及び返信用封筒に書かれた住所，電話番号，メールアドレスを変更した場合は，速やかに13頁の「16　入試関係照会先」まで連絡すること。

(3)　名古屋大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づいて，「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」を定めて，技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っている。

2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い，**本学への出願者全員**を対象に，「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告」の提出が必要となる。また，入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合がある。

規制されている事項に該当する場合は，入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があるので，注意すること。なお，詳細については以下の安全保障輸出管理に係るWebサイトを参照すること。

https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport

14　個人情報の取り扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は，入学選抜，合格発表，入学手続及びこれらに付随する事項にのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し，利用目的以外には利用しない。

15　卓越大学院プログラムについて

卓越大学院プログラムは，文部科学省が2018年に導入した5年一貫の博士課程プログラムである。大学院生が研究と多様な能力の開発に打ち込めるようにするため，特別な経済的支援が用意され，さらに，TA や RA を通して指導能力を学び，追加の収入が得られるような仕組みが用意されている。

工学研究科では，以下のプログラムに参画している。

未来エレクトロニクス創成加速 DII 協働大学院プログラム（DII）

電子工学専攻、電気工学専攻、情報・通信工学専攻、物質科学専攻、応用物理学専攻、物質プロセス工学専攻、材料デザイン工学専攻、化学システム工学専攻、機械システム工学専攻、航空宇宙工学専攻、マイクロ・ナノ機械理工学専攻、エネルギー理工学専攻、総合エネルギー工学専攻は2018年度より本プログラムに参画している。

詳細は以下の HP を参照すること。

https://www.dii.engg.nagoya-u.ac.jp/

トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム（GTR）

有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻は2018年度より本プログラムに参画している。

詳細は以下の HP を参照すること。

http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/gtr/

ライフスタイル革命のため超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム（TMI）

電気工学専攻、電子工学専攻、情報・通信工学専攻、機械システム工学専攻、マイクロ・ナノ機械理工学専攻、航空宇宙工学専攻、土木工学専攻は、2020年度より本プログラムに参画している。

詳細は以下の HP を参照すること。

https://www.tmi.mirai.nagoya-u.ac.jp

16　入試関係照会先

(1)　入学試験全般に関する照会先

名古屋大学大学院工学研究科教務課入学試験係（東山キャンパス ES 総合館3階）

〒464-8603　愛知県名古屋市千種区不老町

電話　052-789-3978　E-mail：eng-admission(at)t.mail.nagoya-u.ac.jp

※(at)を@に換えること。

(2)　入学試験過去問及び各専攻の入試情報照会先

https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/doc/past_exam.pdf

専攻	専攻別入試情報URL	メールアドレス
有機・高分子化学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/mmc_admit/	admission(at)chembio.nagoya-u.ac.jp
応用物質化学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/mc_admit/	
生命分子工学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/be_admit/	
応用物理学	http://www.ap.pse.nagoya-u.ac.jp/briefing.html	office(at)ap.pse.nagoya-u.ac.jp
物質科学	http://www.mp.pse.nagoya-u.ac.jp/graduate.html	office(at)mp.pse.nagoya-u.ac.jp

材料デザイン工学	https://www.material.nagoya-u.ac.jp/bosyuu.html	officemate(at)material.nagoya-u.ac.jp
物質プロセス工学		
化学システム工学		
電気工学	http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/g_admission/index.html	jimu(at)nuee.nagoya-u.ac.jp
電子工学		
情報・通信工学		
機械システム工学	https://www.mae.nagoya-u.ac.jp/ja/admission	mae_jimu(at)mae.nagoya-u.ac.jp
マイクロ・ナノ機械理工学		
航空宇宙工学		
エネルギー理工学	https://www.energy.nagoya-u.ac.jp/admission	qjuken(at)energy.nagoya-u.ac.jp
総合エネルギー工学		
土木工学	https://www.civil.nagoya-u.ac.jp/admission/examination.html	jimu(at)civil.nagoya-u.ac.jp

※メールアドレスの(at)は@に換えること。

Ⅱ　博士後期課程（博士課程）

（全専攻で共通）

1　出　願　資　格

日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）であって，「留学」の在留資格を有し，かつ次の各号の一に該当する者。

ただし，入学手続時までに「留学」の在留資格を取得できる予定の者については，出願時にその資格を有しなくても出願できる。

(1)　修士の学位又は専門職学位を授与された者及び令和7年3月末日までに授与される見込みの者

(2)　外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月末日までに授与される見込みの者

(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月末日までに授与される見込みの者

(4)　我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月末日までに授与される見込みの者

(5)　国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第１条第２項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月末日までに授与される見込みの者

(6)　外国の学校，上記資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び合格する見込みの者で，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7)　文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

一　大学を卒業し，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者及び令和7年3月末日までに２年以上従事する見込みの者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

二　外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者及び令和7年3月末日までに２年以上従事する見込みの者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(注)　22頁の「出願資格(7)により出願する者について」を参照すること。

(8)　本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，令和7年3月末日までに24歳に達する者

(注)　23頁の「出願資格(8)により出願する者について」を参照すること。

※出願する前に必ず志望指導教員に照会すること。（ただし，有機・高分子化学，応用物質化学，生命分子工学，機械システム工学，マイクロ・ナノ機械理工学及び航空宇宙工学の各専攻においては，出願前に必ず志望指導教員に連絡を取り，内諾を得ておくこと。）

2　受入専攻及び募集人員

専　　攻	募　集　人　員
有　機　・　高　分　子　化　学	若　干　名
応　用　物　質　化　学	若　干　名
生　命　分　子　工　学	若　干　名
応　用　物　理　学	若　干　名
物　質　科　学	若　干　名

材料デザイン工学	若干名
物質プロセス工学	若干名
化学システム工学	若干名
電気工学	若干名
電子工学	若干名
情報・通信工学	若干名
機械システム工学	若干名
マイクロ・ナノ機械理工学	若干名
航空宇宙工学	若干名
エネルギー理工学	若干名
総合エネルギー工学	若干名
土木工学	若干名

３　出願登録期間・入学検定料払込期間・願書受付期間

①出願登録期間・入学検定料払込期間

インターネット出願登録期間及び入学検定料払込期間

令和6年10月7日（月）から10月25日（金）14時59分まで

②願書受付期間

令和6年10月21日（月）～10月25日（金）

窓口受付時間：9時～16時。ただし，12時～13時は除く。

受付期間最終日までの消印を有効とする。なお，海外から出願書類を郵送する場合，10月25日（金）必着とする。（消印は考慮しない。）

（注）インターネット出願については，7頁「６　インターネット出願の流れ」を参照すること。
入学検定料の払込については，19頁「７　入学検定料の払込方法」を参照すること。

４　出　願　手　続

出願手続は，入学検定料払込期間内にインターネット出願サイト（7頁参照）で出願登録及び入学検定料の払込を行った後，願書受付期間内に出願書類を提出または郵送することで完了する。

●検定料の払込期限は，出願登録日を含め４日間(*)であり，払込期限内に入金がない場合は，出願登録は自動的に取り消しとなる。出願登録が取り消しとなったときは再登録すること。

*検定料の払込締切日までの日数が４日より短い場合は払込締切日（10月25日（金）14時59分）までに払込むこと。

● 詳細は19頁「７　入学検定料の払込方法」を参照すること。

●「５　出願書類等」①～⑬の書類等を工学研究科教務課入学試験係へ出願期間内に届くように提出または郵送すること。

郵送先・提出先：〒464-8603　愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院工学研究科教務課入学試験係

◎注意事項

（１）出願書類は，インターネット出願システムから出力される「出願書類送付用封筒貼付用紙」をカラーで印刷し，角型２号の封筒に貼りつけて，工学研究科教務課入学試験係へ提出または郵送すること。
詳細については10頁「STEP６（必要書類の印刷と郵送）」を確認すること。

（２）出願書類を郵送する場合は，簡易書留速達郵便で，郵便局窓口から送付すること。（ポストには投函しないこと。）海外からの場合は，EMS・DHL 等，追跡のできる方法で送付すること。
（３）出願書類に不備のある場合は，受け付けないので留意すること。
（４）出願手続後は，いかなる事情があっても書類の書き換え及び返却は認めない。
（５）出願書類について，虚偽の申請，不正等の事実が判明した場合は，入学許可を取り消すことがある。
（６）出願に際して不明な点は，21頁の「15　入試関係照会先」まで問い合わせること。

５　出願書類等

インターネット出願以外の所定用紙は，以下の本研究科ホームページからダウンロードし，A4判用紙にカラー印刷のうえ記入すること。(https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/graduate/admission.php)

【出願書類記入上の注意】
１．日本語または英語で記入すること。
２．出願書類は，拡大・縮小は行わずに A4判用紙で白い用紙に印刷すること。
３．志願票の記入に当たっては，文字は楷書，数字は算用数字，英字は大文字活字体で，正確・明瞭に黒のボールペンで記入すること。消せるボールペンは使用しないこと。
４．訂正を行う場合は，二本線で取り消し，再度余白部分に記入すること。修正液等は使用しないこと。

	出願書類等	注意事項
①	名古屋大学大学院志願票， 及び写真票	［インターネット出願システムから出力されたものを，A4サイズで片面カラー印刷すること。］ ※出願前３ヶ月以内に撮影した正面向き，上半身，無帽，背景なしの顔写真データを用意し，インターネット出願サイトからアップロードすること。 出願後に住所が変更になる場合には必ず工学研究科教務課入学試験係まで連絡すること。 写真票の「研究科指定欄」は空欄のまま提出すること。
②	名古屋大学大学院 工学研究科博士後期課程入学志願票 （所定用紙）	・本研究科ホームページから所定の用紙をダウンロードし，作成すること。 （注１）申請者署名欄は自筆で署名すること。 （注２）職歴欄は，職歴なしの場合は，「なし」と記入すること。
③	志望理由書 （所定用紙）	本研究科ホームページ掲載の所定用紙に記入すること。
④	修士の学位を授与された者（又は見込み）であることの証明書 （原本）	・本学工学研究科（正規課程）に在籍中の者は提出不要。 ・出願資格(7)又は(8)により出願する者は，提出不要。 ・留学生で本学部（本研究科）の研究生は，研究生入学時に証明書原本（紙面に限り，見込証明書は不可）を提出済みの場合は再提出不要。 （注１）証明書は必ず原本を提出すること。コピーや PDF 等のデータでの提出は不可。 （注２）本研究科の休学中の学生は，教務課入学試験係に事前に相談すること。 （注３）氏名変更等により，証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合，それを証明できる書類を併せて提出すること。 （注４）外国の大学を卒業した者は，大学または公証処等が発行した証明書を提出すること。 （注５）日本語又は英語以外で作成されている場合は，日本語又は英語の訳文を添付すること。（自身で翻訳する場合には，日付を記載し，自筆署名すること。） （注６）在籍（又は出身）大学院において修士の学位（又は見込み）証明が発行されない場合は，修士（博士前期）課程の修了（又は見込み）証明に換えることができる。

⑤	学業成績証明書 （原本）	・修士課程（博士前期課程）におけるもの。 ・本学工学研究科（正規課程）に在籍中の者及び出願資格(7)及び(8)により出願する者は，提出不要。 ・留学生で本学部（本研究科）の研究生は，研究生入学時に証明書原本（紙面に限り，見込証明書は不可）を提出済みの場合は再提出不要。 （注１）証明書は必ず原本を提出すること。コピーやPDF等のデータでの提出は不可。 （注２）氏名変更等により，証明書の記載氏名と現在の氏名が異なる場合，それを証明できる書類を併せて提出すること。 （注３）外国の大学を卒業した者は，大学または公証処等が発行した証明書を提出すること。 （注４）日本語又は英語以外で作成されている場合は，日本語又は英語の訳文を添付すること。（自身で翻訳する場合には，日付を記載し，自筆署名すること。）
⑥	修士論文又は 研究経過の概要 （所定用紙）	本研究科ホームページから所定用紙を印刷し，修士論文又は研究経過の概要を2,000字程度で記載すること。 （注１）パソコンで作成する場合は，本研究科ホームページ掲載の様式にならい1行40字程度で作成すること。 （注２）英語で作成する場合は1,000語程度で作成すること。 （注３）出願資格(7)又は(8)により出願する者は，提出不要。
⑦	推薦書（原本）	・出身大学または大学院の教員が作成したもの。ただし，在職中の者は所属長が作成したものとする。いずれも様式随意。 ・本学工学研究科修了見込者または本学工学研究科研究生は提出不要。
⑧	「在留カード」の両面コピー又は「住民票の写し」（原本）	「住民票の写し」の場合は在留資格，在留期間の記載されたもの（発行申請時に申し出が必要）かつマイナンバーの記載がないものとする。海外在住者においては，パスポートのコピー（顔写真のある頁）を提出し，入学手続時に必ず左記のうちいずれかを提出すること。
⑨	合否通知用封筒 （所定用紙貼付）	長形3号の封筒に，本研究科ホームページに掲載する「合否通知用封筒貼付用紙」を貼付の上，郵便番号・住所（日本国内），氏名を記入し，６２０円分の切手を貼ること。 海外在住のまま受験する場合は，提出不要。
⑩	入学手続通知用封筒 （所定用紙貼付）	角型２号の封筒に，本研究科ホームページに掲載する「入学手続通知用封筒貼付用紙」を貼付の上，郵便番号・住所（日本国内），氏名を記入すること。 海外在住のまま受験する場合は，提出不要。
⑪	類型該当性の自己申告書 （所定用紙）	本研究科ホームページに掲載する所定用紙（「類型該当性の自己申告書」（様式１））に該当結果を記入し，提出すること。 類型①～③のいずれかに該当する場合のみ，別紙フローチャートも併せて提出の上，海外機関の奨学金の受給通知等も提出すること。
⑫	国費留学生証明書 （原本）	他大学において現在国費留学生である者のみ提出すること。 在学している大学発行のものとする。
⑬	出願書類チェック表 （所定用紙）	本研究科ホームページ掲載の所定用紙を使用し，出願者チェック欄に記入の上，提出すること。

注１：願書の受付後，本研究科においてその他の書類の必要が生じた場合には，後日提出させることがある。
注２：出願資格(7)又は(8)により出願する者は，16頁「４　出願手続」の項にかかわらず，22～23頁の「出願資格(7)（または(8)）により出願する者について」の３）出願書類等の項によること。

６　インターネット出願の流れ

7頁～10頁の博士前期課程（修士課程）の募集と同様である。

7　入学検定料の払込方法

(1) 入学検定料 30,000円

入学検定料のほかに支払手数料(最大1,300円)が必要となる。手数料の額は，支払手続き画面に表示される。

令和7年3月に本学大学院博士前期課程修了見込みの者及び国費外国人留学生として入学する予定の者は，入学検定料不要のため，インターネット出願サイトの出願時に「検定料の免除について」で「該当する」をチェックすること。

なお，本来入学検定料を支払うべき者が，誤って「検定料の免除について」において，「該当する」を選択し，入学検定料を支払わず出願した場合の書類は受理しないので注意すること。

(2) 払込期間

令和6年10月7日（月）から10月25日（金）14時59分まで

(3) 払込方法

入学検定料の支払いは，9頁「STEP５（入学検定料の支払い)」を参照のうえ，行うこと。

海外在住者は，クレジットカードで払い込むこと。

(4) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は，納入済みの入学検定料は返還しない。ただし，以下に該当する場合は，納入された入学検定料を返還する。なお，返還にかかる振込手数料は志願者負担とする。

ア　入学検定料納入後，出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ　入学検定料を二重に払い込んだ場合

※　入学検定料の返還は銀行振込で行う。海外の銀行の口座に返還する場合には，返還される金額は大きく減額される他，返還に多大な日数を要するので，入学検定料の払込は慎重に行うこと。

※　返還請求方法については

名古屋大学 受験生応援サイト（https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/）

→「入試情報を知りたい」→「大学院入試」→「検定料の支払い」を確認すること。

8　受験票の印刷について

令和6年11月6日（水）までに，受験票印刷についての連絡をインターネット出願時に登録したメールアドレスに通知する。

メールに記載されている注意事項に従い，インターネット出願サイトにログインして受験票をA4用紙にカラーで片面印刷すること。詳細については，10頁「STEP７（受験票の印刷)」を確認すること。

なお，試験上の連絡事項がある場合は，出願時に登録したメールアドレスに送付するため，定期的に確認すること。

（注１）インターネット出願登録した際の受付番号は，受験番号ではない。試験当日は受付番号での受験はできないため必ず受験票を持参すること。

（注２）試験当日にスマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めない。

9　選　抜　方　法

学力検査（筆記試験・口頭試問またはいずれか一方により行う）

対面，オンライン等専攻別の実施方法詳細については，令和6年8月末までに本研究科ホームページに掲載する。

日時：令和6年11月13日(水)から11月15日(金)の期間に実施する。
9時から17時まで。

(1)　専門科目試験：志願者が，専攻しようとする学問分野において，博士学位を目指す研究を行いうる能力を有するか否かについて試験する。筆記試験の問題は，原則として英文で書かれる。

(2)　語 学 試 験：英語

語学試験，口頭試問等において日本語能力についての検定を行うことがある。

試験科目，日程など詳しいことは各専攻から通知する。

10　合 格 者 発 表

令和6年12月20日(金)正午（本研究科ホームページに掲示するとともに合否結果を本人宛に送付する。）

※合格者には入学意思の確認書類を同封する。翌年1月には提出が必要となるため留意すること。

11　入　学　手　続

入学手続に関する詳細については，令和7年3月上旬に通知する。

令和7年3月中旬までに郵送により行う。

12　授業料等学生納付金

(1)　入 学 料　282,000円（予定）

入学手続時に納付すること。

ただし，本学大学院博士前期課程（修士課程）を修了し，引き続き本課程に進学する者及び国費外国人留学生は，入学料を要しない。

(2)　授 業 料　前期分　267,900円（予定）（年額535,800円（予定））

授業料は，前期及び後期の２期に分けて納入する。また，納付については，授業料口座振替（代行納付制度）により取り扱う。

ただし，国費外国人留学生は，授業料を要しない。

（注１）入学手続き完了後は，納付済みの入学料は返還しない。

（注２）入学時又は在学中に入学料・授業料の改定が行われた場合は，改定時から新しい金額が適用される。

13　その他注意事項

(1)　障害がある者等で，受験上特別な配慮を必要とする者は，令和6年10月7日(月)までに，21頁の「15　入試関係照会先」まで申し出ること。

なお，修学上特別な配慮を必要とする者も同様に申し出ること。

(2)　出願後に志願票及び返信用封筒に書かれた住所，電話番号，メールアドレスを変更した場合は，速やかに21頁の「15　入試関係照会先」まで連絡すること。

(3)　名古屋大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づいて，「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」を定めて，技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っている。

2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い，**本学への出願者全員**を対象に，「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告」の提出が必要となる。また，入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合がある。

規制されている事項に該当する場合は，入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があるので，注意すること。なお，詳細については以下の安全保障輸出管理に係る Web サイトを参照すること。

https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport

14　個人情報の取り扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は，入学選抜，合格発表，入学手続及びこれらに付随する事項にのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し，利用目的以外には利用しない。

15　入試関係照会先

(1)　入学試験全般に関する照会先

名古屋大学大学院工学研究科教務課入学試験係（東山キャンパス ES 総合館3階）

〒464-8603　愛知県名古屋市千種区不老町

電話　052-789-3978　E-mail：eng-admission(at)t.mail.nagoya-u.ac.jp

※(at)を@に換えること。

(2)　入学試験過去問及び各専攻の入試情報照会先

https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/doc/past_exam.pdf

専攻	専攻別入試情報URL	メールアドレス
有機・高分子化学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/mmc_admit/	admission(at)chembio.nagoya-u.ac.jp
応用物質化学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/mc_admit/	
生命分子工学	http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/be_admit/	
応用物理学	http://www.ap.pse.nagoya-u.ac.jp/briefing.html	office(at)ap.pse.nagoya-u.ac.jp
物質科学	http://www.mp.pse.nagoya-u.ac.jp/graduate.html	office(at)mp.pse.nagoya-u.ac.jp
材料デザイン工学	https://www.material.nagoya-u.ac.jp/bosyuu.html	officemate(at)material.nagoya-u.ac.jp
物質プロセス工学		
化学システム工学		
電気工学	http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/g_admission/index.html	jimu(at)nuee.nagoya-u.ac.jp
電子工学		
情報・通信工学		
機械システム工学	https://www.mae.nagoya-u.ac.jp/ja/admission	mae_jimu(at)mae.nagoya-u.ac.jp
マイクロ・ナノ機械理工学		
航空宇宙工学		
エネルギー理工学	https://www.energy.nagoya-u.ac.jp/admission	qjuken(at)energy.nagoya-u.ac.jp
総合エネルギー工学		
土木工学	https://www.civil.nagoya-u.ac.jp/admission/examination.html	jimu(at)civil.nagoya-u.ac.jp

※メールアドレスの(at)は@に換えること。

出願資格(7)により出願する者について

「文部科学大臣の指定した者」

１）出願資格(7)により出願する者は，次の①または②の要件を満たす者であること。

① 大学を卒業し，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者及び令和7年3月末までに２年以上従事する見込みの者で，学術論文，著書，研究発表，特許等により，修士学位論文と同等以上の価値がある認められる研究業績を有する者。

② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者及び令和7年3月末までに２年以上従事する見込みの者で，学術論文，著書，研究発表，特許等により，修士学位論文と同等以上の価値がある認められる研究業績を有する者。

２）事前照会（審査）

出願資格(7)により出願する者については，あらかじめ次の書類を令和6年9月13日(金)〔16時必着〕までに，工学研究科教務課入学試験係〔16頁「４　出願手続」の項を参照〕へ提出又は郵送（郵送の場合，簡易書留速達郵便で封筒の表に「博士後期課程事前審査申請」と朱書）し，出願資格の有無について事前照会すること。

本研究科で事前審査を実施し，その結果は本人宛に令和6年10月2日（水）に発送する。

提出書類（日本語又は英語で書くこと）

① 出願資格(7)による出願資格事前審査願（本研究科ホームページ掲載の様式に，本人が記載）
② 大学卒業証明書（原本）
③ 研究歴証明書（本研究科ホームページ掲載の様式に，所属の長等が証明したもの）
④ 推薦書（本研究科ホームページ掲載の様式に，所属の長等が証明したもの）
⑤ 研究実績調書（本研究科ホームページ掲載の様式に，本人が記載）
⑥ 研究成果報告書（本研究科ホームページ掲載の様式に，日本語の場合は4,000字程度で，英語の場合は1,500語程度で本人が作成，論文形式とする）
⑦ 学術論文，著書，研究発表，特許等の写しの添付

３）出願書類等

上記事前審査の結果，出願資格有と判定された者の出願書類は，17～18頁の５を参照すること。

出願資格(8)により出願する者について

１）出願資格(8)により出願する者は，次の①または②の要件を満たす者であること。

① 本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，令和7年3月末日までに24歳に達している者。

② 学術論文，著書，研究発表，特許等により，修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者。

２）個別審査

出願資格(8)により出願する者については，あらかじめ次の書類を令和6年9月13日(金)〔16時必着〕までに，工学研究科教務課入学試験係〔16頁「４　出願手続」の項を参照〕へ提出又は郵送（郵送の場合，簡易書留速達郵便で封筒の表に「博士後期課程個別審査申請」と朱書）し，出願資格の有無について個別審査を願い出ること。

本研究科で個別審査を実施し，その結果は本人宛に令和6年10月2日（水）に発送する。

提出書類（日本語又は英語で書くこと）

① 出願資格(8)による出願資格個別審査願（本研究科ホームページ掲載の様式に，本人が記載）

② 履歴書（本研究科ホームページ掲載の様式に，本人が記載）

③ 修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があることを示す書類

(a) 履歴に技術的・専門的職業について職歴を有する者
その期間及び職務内容を明記した在職証明書（原本）

(b) 履歴に研究歴を有する者
研究歴証明書（本研究科ホームページ掲載の様式に，所属の長等が証明したもの）
研究実績調書（本研究科ホームページ掲載の様式に，本人が記載）
研究成果報告書（本研究科ホームページ掲載の様式に，本人が4,000字程度で作成，論文形式とする。）

④ 学術論文，著書，研究発表，特許，作品の写し

⑤ その他，審査の参考となる資料（自薦，他薦による推薦書など）

３）出願書類等

上記個別審査の結果，出願資格有と判定された者の出願書類は，17～18頁の５を参照すること。

令和７年度　名古屋大学大学院工学研究科概要

大学院は学術の理論及び応用を教授研究し，その深奥をきわめて文化の進展に寄与するとともに学術の研究者，高度の専門技術者及び教授者を養成することを目的とする。本研究科には博士前期課程及び博士後期課程をおき，その修業年限は，博士前期課程は２年，博士後期課程は３年を標準とする。博士前期課程では学識及び研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養い，博士後期課程では研究者として，自立して研究活動を行うに必要な高度の能力及び豊かな学識を養うものである。

本研究科，各専攻の主な内容は次のとおりである。

専　攻　名	内　　容	
有機・高分子化学専攻	有機構造化学，有機反応化学，触媒有機合成学，高分子物性学，機能高分子化学，高分子組織化学，超分子・高分子化学	
応用物質化学専攻	触媒設計学，材料設計化学，エネルギー変換化学，構造機能化学，機能材料化学，機能物質工学，多孔材料化学，超分子設計学	
生命分子工学専攻	ナノバイオ計測化学，生体分子応用化学，生命超分子化学，化学遺伝学，生物化学工学，分子生命環境プロセス	
応用物理学専攻	物性基礎工学，量子物性工学，光物理工学，数理工学，構造物性工学，磁性材料工学，電子線ナノ物理工学，生体分子物理工学，ナノ物性工学	
物質科学専攻	高圧力物質科学，電子機能材料，ナノ電子デバイス工学，量子スピン物性工学，量子ビーム物性工学，材料設計工学，レオロジー物理工学，ナノ顕微分光物質科学，フロンティア計算物質科学，放射光応用物質科学，量子物性計算科学[b]	※
材料デザイン工学専攻	計算組織学[a, b]，計算材料物性学，構造形態制御工学，ナノ構造制御学，シンクロトロン光応用工学，ナノイオニクス設計工学，材料加工工学	※
物質プロセス工学専攻	プロセス情報工学，化学物性応用工学[a]，移動現象制御工学，結晶成長情報工学[b]，材料複合プロセス工学[a]，エネルギー・環境材料創成工学[a]，エネルギー変換・触媒材料創成工学，ナノスピン・磁性材料創成工学	※
化学システム工学専攻	循環システム工学，分離融合システム工学，化学エネルギーシステム工学，化学反応システム工学，有機光電材料化学，界面システム工学，材料電気化学，界面・反応動力学，機能性マテリアル創成工学	
電気工学専攻	電気エネルギー貯蔵工学，エネルギー制御工学，電力機器・エネルギー伝送工学，エネルギーシステム工学，パワーエレクトロニクス，プラズマエネルギー工学，機能性・エネルギー材料工学，核融合電磁物性工学，宇宙電磁観測，宇宙情報処理	
電子工学専攻	プラズマエレクトロニクス，プラズマナノプロセス科学，先端プロセス，知能デバイス，機能集積デバイス，先端デバイス，量子光エレクトロニクス，量子集積デバイスシステム，光エレクトロニクス，ナノ情報デバイス[b]，ナノスピンデバイス，ナノ電子物性，ナノ電子デバイス[b]，ナノバイオセンシング	※
情報・通信工学専攻	画像情報学，情報ネットワーク，先端情報環境，無線通信システム，コンピュータ・アーキテクチャ，インテリジェントシステム，コンピュテーショナル・インテリジェンス，制御システム，通信理論	
機械システム工学専攻	熱制御工学，環境・エネルギー工学，統計流体工学，固体力学，バイオメカニクス，計算力学，機械力学，自動車安全工学，支援ロボティクス，動的システム制御，生体システム制御，モビリティシステム	
マイクロ・ナノ機械理工学専攻	マイクロ・ナノプロセス工学，生産プロセス工学，材料強度・評価学，センシング工学，マイクロ熱流体工学，バイオロボティクス，知能ロボット学	
航空宇宙工学専攻	流体力学，衝撃波・宇宙推進，推進エネルギーシステム工学，構造力学，生産工学，制御システム工学，航空宇宙機運動システム工学，先進複合材料，工作機械工学	

エネルギー理工学専攻	エネルギー機能材料工学，表面界面制御工学，ナノマテリアル科学，環境機能材料工学，ナノプロセス，応用核物理学，核データ計測，エネルギー熱流体工学，核融合炉心プラズマ工学，電磁流体工学，大規模シミュレーション
総合エネルギー工学専攻	核融合プラズマ理工学，核融合炉工学，プラズマ計測，原子力安全工学，原子炉物理学，中性子医療応用，マイクロエネルギー応用工学，同位体科学，エネルギー資源循環，エネルギー廃棄物管理工学，放射線計測，放射性核種分析
土木工学専攻	構造工学，材料･形態学，海岸・海洋工学，流域保全学，地盤工学，国土防災安全工学，地圏環境保全学，社会基盤計画学，社会基盤設計学，社会基盤維持管理学，国際環境協力学，国土デザイン学

※a：産総研連携大学院講座を含む，b：NIMS 連携大学院講座を含む

専門科目につき所定の単位を修得し，かつ，学位論文の作成等に対する指導を受けたうえ論文を提出し学位試験に合格した者には，博士（工学）の学位を与える。

工学部・工学研究科キャンパスマップ

「名古屋駅」方面から

地下鉄東山線「本山」駅下車
名城線右回り乗り換え「名古屋大学」駅下車　　所要時間：約25分

「金山」方面から

地下鉄名城線左回り「名古屋大学」駅下車　　所要時間：約24分

中部国際空港「セントレア」方面から

名鉄空港線「中部国際空港」駅より名鉄本線「金山」駅下車
地下鉄名城線左回り「名古屋大学」駅下車　　所要時間：約60分

○ 大学構内における教育・研究環境の安全と静謐を保持するため、また、市街地に位置するため駐車スペースに限りがあることから、原則公共交通機関での来校をお願いしております。

○ 来学時の路上駐車、コンビニ等への駐車に対する苦情が寄せられております。近隣の迷惑となる駐車はご遠慮ください。